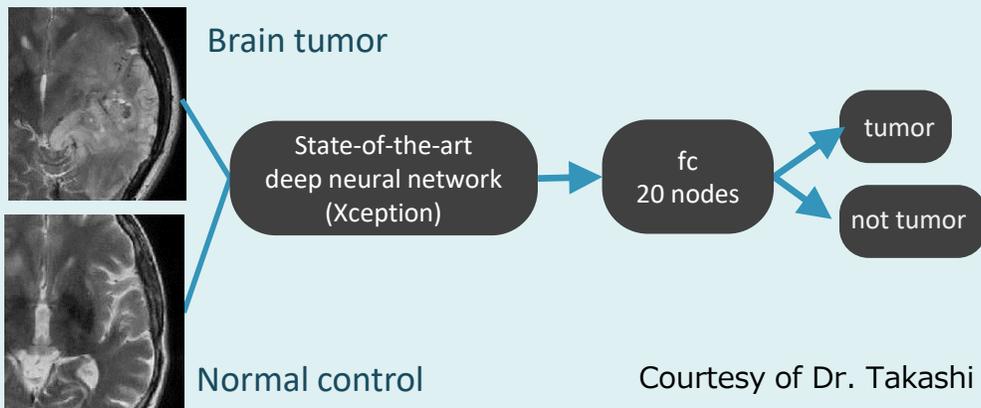


循環器超音波画像を用いた人工知能による自動診断技術の開発

Deep learningによる人工知能の画像解析技術革新

MRIやCTなど、放射線領域の画像診断において広く行われ始めた。



本クラスターの目的

循環器医療画像の特徴

- ・「動き」の評価が必要。

現在の医療画像解析ではその殆どが静止画を対象としており、動画を扱う新規性がある。

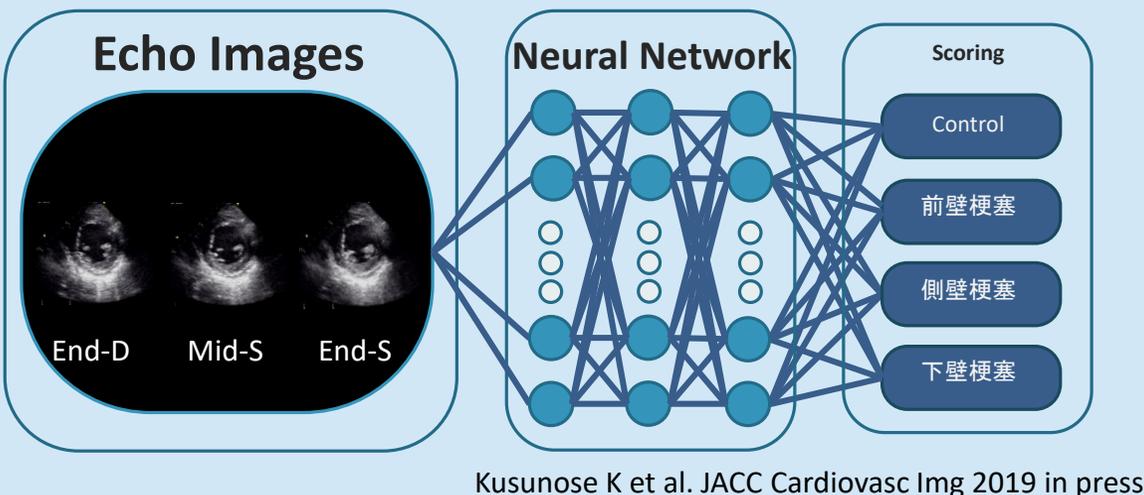
- ・「血行動態」の評価が必要

構造物のあるなしだけでなく、その「働き」を解析する必要がある。

→人工知能解析により、これら複雑な心臓の働きを医療画像（特に超音波画像）から明らかにし、自動診断技術を開発する。

超音波画像はポータブル機器も発達しており、先進国だけでなく発展途上国での使用も多いため、自動診断技術の有用性は高い。

予備検討：心臓超音波画像を用いた心筋梗塞自動診断



組織図

